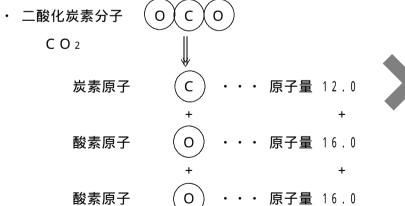
考え方としては、 分子量・・・・ (『水素原子に比べて何倍重い分子か』を示す値)) (例) · 水素分子 H₂ $(H)^{H}$ + 水素原子(2)個分の重さ・・・ 分子量(2.0) ・ 水分子 H2O (H)(O)酸素原子 ・・・ 原子量 16.0(=水素原子16個分) Н 水素原子 ・・・ 原子量 1.0 水素原子 ・・・ 原子量 1.0 分子量 = (18,0)・・・水素原子の(18)倍重日 · 二酸化炭素分子



分子量 = (44.0)・・・水素原子の(44)倍重い

 (ポイント)

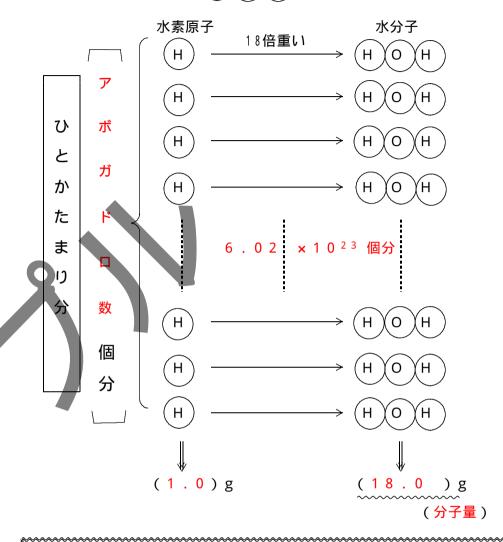
 1 (分子量は原子量の和)

 2 (分子量にも単位は付かない)

 分子の重さについて
 原子量と同じように、ひとかたまり分の重さで考える

 (例)水分子
 H 2 O

 (例)水分子
 H 2 O



(ポイント)

分子 ・・・(6.0×10^{23}) 個・・・・(分子量) にグラムを付けた重さになる

量た

イオン結晶や共有結晶の場合は、組成式の原子量の合計を式量という

(例)塩化ナトリウム NaCl Na(原子量23)、Cl(原子量35.5) なので、式量は58.5 (問題)次の各物質の分子量または式量を求めよ。(教科書表紙裏の原子量を参照)

アンモニア NH3 メタン CH4 エタノール C2H5OH

17.0 16.0 46.0

炭酸ナトリウム Na2CO3 塩化カルシウム CaCl2

106.0 111.0